

> Kano H. photography

Vol.2 lightroom 画像編集



Presented by Kano Hayasaka



- 1 画像編集の前に
- 2 Lightroomの基本
- 3 Lightroom 編集方法
- 4 Lightroom 書き出し設定
- 5 Lightroom その他
- 6 photoshopとの連携



7 色の再現について







データの基礎知識 ウェブvs印刷の違い

	単位	カラーモード	解像度
DTP	mm	СМҮК	350dpi
WEB	pixel	RGB	72dpi

- DTP … デスクトップパブリッシング。 → PC 使った印刷物作り
- Pixel … 色情報を持つ最小単位。
- 画像解像度 … 1インチあたりのドット数。dpi。
- ●CMYK … シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック。 →印刷物、プリンター
- RGB … レッド、グリーン、ブルーの加法混色。

→光の三原色。混ぜると白。 デジカメモニター



●今のカメラ2000万画素以上

- ●同じサイズなら、細かいほうが決め細かい描写になる。
 → 大きくプリント可能。
 ※ただブレが目立ちやすい。
- ●画素数が増すほど1画素で獲得できる光の情報量は 小さい。 1画素で獲得できる光の情報量=常用ISOの幅に反映。
- (1画素当たりの光情報量が増えるほどISOあげても綺麗)

→ISOあげる撮影に有利。





面積が大きい方が綺麗に撮影できる



ピクセルの計算の仕方

例))全紙(560mm×457mm)にプリントするのに必要な画素数を割り出す。

①まずインチサイズに直す。 全紙は約22インチ×18インチ

1インチ=25.4mm 560÷25.4=約22インチ

457÷25.4=約18インチ

②350dpiで書き出すと何ピクセルになるか計算する。
 350dpiで印刷すると…
 7700×6300=4851万画素必要

※LR書き出しの際の設定で画素数を指定する。

350dpiとは… 「1インチ350ピクセル」という意味 22インチ×350dpi=7700pixcel 18インチ×350dpi=6300pixcel



料理に例えると…

撮影とは何か? … 材料集め編集とは何か? … 調理

料理人の腕が試されるのは… 材料集め以上に調理方法!!! 自分らしさ、自分色を出すのは画像編集で!

プロの現場 RAW撮影→現像(編集)→納品 (※例外もあります)

2. Lightroomの基本





●非破壞編集

●上書き保存しなくてよい

●いつでも編集途中に戻れる

●管理が効率的

カタログとは?

●百科事典の索引のようなイメージ
●写真情報のデータベース



設定の仕方

 写真用フォルダを作成 … LR Picture
 カタログ用のフォルダを作成 … LR Catalog
 ※デスクトップPCなら両方My pictureに。 ノートPCなら写真用は外付けHDDに。

カタログ新規作成 ②のカタログ保存フォルダを指定。 ファイル名は好きにつけてよい。





設定の仕方

① 写真用フォルダを作成 … LR Picture

② カタログ用のフォルダを作成 … LR Catalog

※デスクトップPCなら両方My pictureに。 ノートPCなら写真用は外付けHDDに。

カタログ新規作成 ②のカタログ保存フォルダを指定。 ファイル名は好きにつけてよい。





ファイルの取り込み

●SDカードを指すと 取り込む画面になる。

●既に取り込み済の写真を カタログに読みこむには、 【ファイル】→【写真とビデオを読み込み】

Lightroom	
<mark>ァイル(F)</mark> 編集(E) ライブラリ(L) 写真(P) メタラ	タ(M) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
新規カタログ(N) カタログを開く(O) 最近使用したファイルを開く(R)	Ctrl+O >
カタログを最適化(Z)	体 フル 1:1 1:18 ≑
写真とビデオを読み込み(I)	Ctrl+Shift+I
別のカタログから読み込み(C) Photoshop Elements カタログを読み込み テザー撮影 自動読み込み(A)	241550 0 > 1 > 401
書き出し(E) 前回の設定で書き出し(W) プリセットで書き出し カタログとして書き出し(L)	Ctrl+Shift+E Ctrl+Alt+Shift+E > 268/920 GB ◀
写真を電子メールで送信	00/1878
プラグインマネージャー プラグインエクストラ(T)	Ctrl+Alt+Shift+, 20/3.6TB V
対象コレクションを表示(T) クイックコレクションを保存(V) クイックコレクションを消去(D) クイックコレクションを対象コレクションに設定(Q)	Ctrl+B Ctrl+Alt+B Ctrl+Shift+B Ctrl+Shift+Alt+B
ライブラリフィルター(F)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
プリンター(P) 用紙設定(G) 終了(X)	Ctrl+P Ctrl+Shift+P
Image: S (A) Im	



ファイルの取り込み

- ●コピー(追加はNG。写真保存されず)
- ●「重複読み込まない」を選択(デフォルト)
- 日付別でとりこみがおすすめ
 2018/2018-08-06
- ●保存するフォルダは 最初に作ったLRPictureファイルを指定





フォルダの管理

●名前はキーワードで入れる(検索) 例)プロフィール紅葉○○公園

> キーワードを入れるコツ 検索するかもしれない項目すべて!

●変更(名前の変更、写真の移動など) すべてはカタログ上で!





フォルダの管理



「ライブラリ」「現像」モジュール

- ●ライブラリ : 取り込み&書きだし
- 現像 : 編集画面

※それ以外のモジュールは基本使わない







①写真を選別する

写真の便利な選別方法

ショートカットキー 赤-6 黄-7 緑-8 青-9

※Kanoのやりかた
①いらないものは緑、捨てないけど特によくもないものは黄色、 いいものは赤
②緑を一括消去
③赤を表示して、すごくいいものだけ青に

Lightroom 編集の流れ

②編集を始める

最初にどう仕上げたいのか明確なイメージを持つ

①明るさ(露光量)
②コントラスト(明暗差)
コントラスト、シャドウ、ハイライト
白レベル、黒レベル
③色(WB,彩度など)
④線(明瞭度など)

ちゃんとどう仕上げたいのか ゴールが見えていないと 編集はできない。



基本編集機能

①基本の補正

露光量

ハイライト: そこそこ明るい部分の明るさ変更白レベル: すごく明るい部分の明るさ変更シャドウ: そこそこ暗い部分の明るさ変更黒レベル: すごく暗い部分の明るさ変更

【効果的な使い方】

- ・ 白飛びしてしまった写真はハイライトを 下げる
- 透明感を出したい時、白レベル上げる
- 写真に締まりを出す時、黒レベルを下 げる
- 影をおこしたい時、シャドウをあげる

※バランスよくするには・・・

白レベルをあげて、ハイライト下げる

黒レベルを下げて、シャドウをあげる



基本編集機能

②コントラスト

③WB(ホワイトバランス)

- nikonカメラは黄身が強いので青を足す
- 緑かぶりはマゼンタを足す
- ポートレートは青を足すと透明感アップ

④彩度・自然な彩度

自然な彩度は不自然にならないのでおすすめ。 ※寒色系が鮮やかになる





基本編集機能

⑤切り抜き・角度補正

⑥明瞭度

女性の写真は下げるとほんわか美肌に。

⑦レンズ補正

同期の方法





色ごとの編集機能

【色相】

- ●色相は、赤、緑、青、などの色の性質。色の種類。
- ●それぞれお互いが連続してつながりあって色相のグラデーションに なっている(色相環)。
- ●この色相環の反対、向かい合わせの色が補色。
- 被写体を目立たせたり写真全体のイメージを印象付けたりする。
 例)緑の森の中に赤色のワンピースを着たモデル



色ごとの編集機能

【輝度】

●色の明るさの度合いのこと輝度を上げると明るくなり、下げると暗くなる。

【彩度】

●「鮮やかさ」のこと。彩度が高いと鮮やかで派手な色に。



色ごとの編集機能

●色相の調整

もっと引き立てたい色があったり、色を抑えたり時もあります。 そういう色を調整して自分好みの色に変化させていきます。

●彩度の調整

各色それぞれ別で色の鮮やかさが変えられます。 基本的には、色を抑える調整で使うと調整しやすいです。

●輝度の調整

各色それぞれ、別で色の明るさが変えられます。









4. Lightroom 書き出し設定



書き出しの設定

書き出し場所の設定 ※任意のデスクトップ フォルダなど

1のファイルを書き出し			— L	
書き出し先	ハードディスク ~			
9년27년:	1個のファイルを書き出し			
 ▼ Lightroom プリセット DNG に書き出し フルサイズの JPEG を書き込み 電子メール用 電子メール用 (ハードディスク) ▼ ユーザープリセット D750自然光@おうちスタジオ D850自然光@おうちスタジオ 	書き出し先:デスクトップ		~	
	フォルター: C:+Users+y-hay≠L	Jesktop LR書きだし		
	このカタログに追 既存のファイル:確認せずに上書き	動 スタックに注意がは:	元画像の下 ~	
	▼ ファイルの名前			
	☑変更後の名前: 日付 - ファイル名		~	
	カスタムテキスト:		開始番号:	
	例:20180822-DSC_40)61.jpg	拡張子: 小文字 ~	
	▼ ビデオ			
	□ ビデオファイルを	含める:		
→ 追加 前除	ビデオ形式:	\checkmark		
プラグインマネージャー			書き出し キャン	セル
		Ziour	Y	1



書き出しの設定

- ●画質は100が綺麗(60~80をすすめる人も)
- ●解像度はプリントするなら350dpi/inch
- 最高の画質で書き出す場合は、サイズ変更して合わせるのチェックをはずしておく。
- そうでない場合は長辺を指定してプリント対応可能なサイズにする。
- ●撮影情報削除。
- ●自動署名の設定方法(透かし)

- 1 個のファイルを書き出し	- D >	×
書き出し先:	ハードディスク ~ * (回のコーイリキキキ)山	
 ✓ Lightroom プリセット DNG に書き出し フルサイズの JPEG を書き込み 電子メール用 電子メール用 (ハードディスク) ▼ ユーザープリセット D750自然光@おうちスタジオ D850自然光@おうちスタジオ 	■像形式: JPEG 画質: 100 カラースペース: sRGB □ファイルサイズの制限: K	
	▼ 画像のサイズ調整	
	シャープ対象: スクリーン 道用量:標準	
	 ▼ メタデータ 次を含める: すべてのメタデータ ~ ✓ 人物情報を削除 ✓ 場所情報を削除 □ Lightroom 階層としてキーワードを書き込む 	
	 ▼ 透かし ジョがし: Kano Hayasaka(基本) ~ ▼ 後処理 	
道加 削除 ブラガインマネージャー	書き出し後: ねにもしない ~ アブリケーションを選択 ~ 選択 ~ 選択 ~ 選択 ~	

5. Lightroom その他



その他の便利な機能

スマートコレクション







- ・データを取り込む
- ・キーワードを意識してファイル名をつける。
- ・データを選別する。
- ・1枚目をカメラのプロファイルを反映して設定コピー
- •編集開始。
 - だいたい触るのは、露出、WB、ハイライト、黒レベル、 コントラスト、彩度程度。
- ・同じ場所同じ光で撮影した一連の写真は設定をコピペ
- ・編集し終わったら最初から見直し。
- ・書き出し

6. Photoshopとの連携



photoshopとの連携の仕方

- ①現像モジュールで右クリック する
- ②「他のツールで編集」→PSを 選択する
- ③ PSが開けたら編集して保存 する
- ④LRにPS編集画像が自動で
 - 保存される。





LRからPSを開き、編集して保存したあと、もう一度編集する場合



LRで行った調整が適用されPSに展開される。 前回PSで加工した際に、レイヤーを残したままの場合、 レイヤーが統合され、レイヤー編集ができなくなる。



安全、戻れる、が、容量が増える。

LRの調整がPSでは無効になって見えるが、PSのレイヤーが残っている。 PSに連携前の画像はLR上でコピーされ別写真として残っている。 PSで加工をし、保存を行うと元画像が変更され、LR調整が適用される。 コピーが作成され、PSで追加加工する前の状態を残したままにできる。



LRからPSを開き、編集して保存したあと、もう一度編集する場合

③元画像を編集

すこし安全、すこし戻れる、容量が増える。 LRの調整がPSでは無効になって見えるがPSのレイヤーが残っている。 PSで加工をし保存を行うと元画像が上書きされLR調整が適用される。 PSで追加加工する前の元画像の状態は残らない。 LR調整は残したまま、PS加工した元画像が上書きされる。 LR再編集が可能、元画像は戻れない。 元画像の上書き保存。











正しい色で撮影するための工夫

①撮影前にできること。 ・ストロボを使う ・WBプリセットマニュアルを使う



 ②編集でできること
 ・カラーチェッカーの利用とWBのスポイト機能を利用 もしくは・・・
 ・カラーチャートでマニュアル色合わせ



色の再現について

X-rite カラーチェッカーパスポートの利用

(1)ソフトをインストールする ②ストロボを使って、正確な色でカラーチャートを撮影する ③カラーチャート画像をLightroomに読み込む ④Lightroomでその画像をそのまま書き出す。 (書き出し先をX-riteプリセットを選択) ⑤DNGプロファイル名をつける(例)D850スタジオ) ⑥書き出しする。←これで設定が完了 ⑦再起動する ⑧画像を読み込む際、現像モジュールのAdobeColorから 作成したプロファイルを選択。

★このプリセットを読み 込み時にいつでも適応 するように、プリセットマ ニュアルを作成するの がお勧め!

※本来は撮影毎ににプリ セットをつくる必要あり。

カラーマネジメント モニターキャリブレーション

モニターのキャリブレーションとは?

おすすめの商品

モニターは経年劣化する。

例) 温度を5000K、明るさを100cd/m2に設定したモニターが 経年変化で、数か月後には、4500K、90cd/m2

→ 元の状態に戻すために 定期的なキャリブレーションが必要

目安:200時間に1回程度の頻度







提出課題

イメージ通りにレタッチできた! と思える3枚

編集する前のBEFOREと一緒に!